

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成28年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立青い鳥老人ホーム	所管課	福祉保健部 健康長寿推進課
所在地	笛吹市春日居町小松855-192	設置年月日 (改築年月日等)	昭和48年5月1日
指定管理者	社会福祉法人山梨ライトハウス		
設置根拠 (法律、条例等)	青い鳥老人ホーム設置及び管理条例		
設置目的	居宅において養護をうけることが困難な高齢者のうち、主として視覚障害者の福祉に係る業務を総合的かつ有機的に行うため、山梨県立青い鳥老人ホームを設置する。		
主な施設内容 (定員等)	○定員50名 ○敷地面積:4,248㎡ ○建築延面積:2,100㎡ ○建物の構造:鉄筋コンクリート造 一部2階建て ○施設の内容 居室(55室:各面積10.75㎡、計:591.25㎡)、地域集会室・霊安室(127.50㎡)、食堂(94.5㎡)、厨房(53.4㎡)、事務所(52.5㎡)、静養室(18.8㎡)、医務室(12.4㎡)、1・2階寮母室(24.99㎡)、宿直室(9.72㎡)、面会室(16.5㎡)、男・女浴室(38.92㎡)、特別浴室(10.91㎡)、1・2階洗濯室(26.79㎡)、理容室(9.1㎡)、談話室(62.56㎡)、その他(廊下等)(950.5㎡)、車庫(63.3㎡)、駐輪場(10.5㎡)、ごみ置き場(3.6㎡)		
主な業務内容	(1)施設の維持保全業務 ・施設及び設備器具の維持保全に関する業務を行う。 (2)養護老人ホームに関する業務 ・老人福祉法第20条の4の養護老人ホームに関する業務を行う。 (3)特定施設入居者生活介護業務 ・介護保険法第8条第11項の特定施設入居者生活介護を行う事業及び同法第8条の2第11項の介護予防特定施設入居者生活介護を行う事業に関する業務を行う。		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	県内養護老人ホーム12ヶ所のうち峡東地区 (1)養護老人ホーム光珠荘:定員50人(笛吹市) (2)養護老人ホーム晴風園:定員75人(山梨市)
------------------------------	--

3 利用状況

単位：人、%

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (目標値)
利用者数	施設入所利用者	588	561	535	
	利用者数合計	588	561	535	
	目標値	600	600	600	600
	目標値設定の考え方及びその理由	定員50名×12月			
	対26年度比		95.4%	91.0%	
利用率		98.0%	93.5%	89.2%	

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成27年度	平成28年度 (計画値)	平成28年度 (実績値)	平成29年度 (計画値)
収入	施設利用料	586,219	540,000	501,407	566,000
	指定管理者委託料	153,165,152	165,175,000	146,934,299	154,698,000
	その他	10,834,093	5,793,000	6,215,105	5,958,000
	収入合計(A)	164,585,464	171,508,000	153,650,811	161,222,000
支出	人件費	119,018,678	123,828,000	116,608,136	118,601,000
	県への納付金				
	管理運営費	47,207,647	46,041,000	45,626,419	43,941,000
	うち外部委託費(B)	2,642,213	3,040,000	2,510,659	2,430,000
	支出合計(C)	166,226,325	169,869,000	162,234,555	162,542,000
収支差額(A-C)		△ 1,640,861	1,639,000	△ 8,583,744	△ 1,320,000
外部委託比率(B÷C)		1.6%	1.8%	1.5%	1.5%
利用者一人当たりの経費		273,021.7	275,291.7	274,643.5	257,830.0

5 利用者満足度

実施方法等	<ul style="list-style-type: none"> ●設備・入浴・健康管理 <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年2月1日～平成29年2月28日 ・実施方法:相談員, 支援員が利用者の居室で面接調査を行う。 ●食事 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回目 平成28年7月3日～8月19日 回答者42名 ・第2回目 平成29年2月15日～2月28日 回答者39名 ・実施方法:栄養士が利用者の居室にて行う。
--------------	---

単位: %

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①施設の設備について	86.0%	11.0%	3.0%	
②行事等	84.0%	16.0%		
③食事	66.0%	26.0%	8.0%	
④入浴	81.0%	16.0%	3.0%	
⑤健康管理	84.0%	13.0%		3.0%
⑥利用者のケア	70.0%	30.0%		
⑦金銭管理	100.0%			
⑧その他	83.0%	11.0%	3.0%	3.0%
施設全般の満足度	95.0%	5.0%		

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ①廊下に設置されている火災報知器・表示灯を覆っている金属製のカバーが肩等にぶつかる事がある。 ②夏、秋、冬のショッピングがあるので、春のショッピングにも行きたい。 ③一人の職員に伝えたことが、他の職員に伝わっていないことがある。 ④言葉遣いが荒い人がいる。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ①防火上取り外せないなので、ぶつかっても痛くないようカバー(クッション)を取り付けました。 ②インフルエンザ等への感染対策のため、その年の状況を勘案して検討します。 ③職員同士でしっかりと情報伝達ができるようにしました。 ④職員には言葉遣いに気を付けるように指導しました。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>法令・事業計画等に基づき適正に業務を執行した。</p> <p>相模原市の障害者支援施設入所者殺傷事件を受け、防犯対策として防犯カメラと緊急通報装置を設置し、さすまた、ネットランチャー、催涙スプレー等の防犯備品を揃えた。</p>	<p>事業計画に沿った業務が実施されている。</p> <p>防犯対策については、不審者の侵入を抑止できるよう監視を行い、万が一非常事態が発生した場合は、迅速に警察に通報するなど、利用者保護のため確実・安全に行動できるよう、内部で継続して研修・訓練を実施して欲しい。</p>
運営業務	<p>事業計画等に基づき、利用者一人ひとりについてケアサポートプランを作成し、これに基づいた個別の援助、健康管理、地域との交流など業務を適正に執行した。</p>	<p>事業報告書及び現地確認の結果、適正に実施されている。</p>
利用状況	<p>利用定員50人に対して、89.2%の利用率であった。</p> <p>措置者(市町村)からの入所依頼を受け、被措置者の状況を確認する中で入所を決定している。</p>	<p>死亡や入院による退所が多く、昨年の利用率93.5%を4.3ポイント下回った。</p> <p>様々な機会を通じて、青い鳥老人ホームの施設の役割や特性について、措置権者である市町村に周知を行うこと。</p>
収支状況	<p>収入は昨年度より月平均利用者が2人以上減ったこと、寄附金が減少したことなどにより大幅(6.7%)に減少した。</p> <p>支出は経費削減に努めたこと、利用者数減少による経費減少等により、支出額自体は減少したが、収入額減少の影響で全体としては支出超過となった。</p>	<p>利用者の減少に伴って、収入が減少しているが、支出については、経費の節減に努めており適正に業務が執行されている。今後ともサービスの質が低下しないよう注意しながら、安定的な運営に向け計画的な運営に努めて欲しい。</p>
自主事業	<p>各種の行事については行事計画表のとおり、実施出来た。利用者は多くの事業に参加されていた。</p> <p>ショートステイ事業については、利用促進に努め適正に事業を実施している。</p>	<p>各種行事については、行事計画表のとおり実施されている。</p> <p>ショートステイ事業においても適正に業務が執行されているが、今後とも事業活用の一層の推進を図られたい。</p>
利用者満足度	<p>利用者の要望については、対応できるところは早急に改善等を行っている。何ごとも利用者の目線で、利用者の立場に立ったサービスの提供を行っているところであります。これからも利用者の要望を伺いながら、より一層のサービスの向上に努めて参りたい。なお、できるだけ多くの利用者の声を集めるよう、詳細な聞き取りを行っている。</p>	<p>昨年度の結果と比較すると、「満足」、「どちらかと言えば満足」の回答率が上がっており、運営上の工夫が見受けられる。また、聞き取り調査の改善もしているが、今後も、調査の実施方法を検証・精査し、多くの利用者の声を集められるようより一層工夫されたい。</p>

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>利用者が独立心を損なうことなく、平穏な生活が送れるよう生活環境を整備し、生きがいの持てる健全で明るい老後を送れるよう入所者の目線で、利用者の立場に立って支援の充実に努めた。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>概ね事業計画どおりに業務が実施されている。 今後も利用者からの要望をできるだけ取り入れるよう対応すること。また、ショートステイ事業については、今後一層積極的な推進を図ること。 経営状況は、昨年度と比較して支出が抑制されているが、利用者数の減少により支出超過となった。青い鳥老人ホームの施設の役割や特性について措置権者である市町村に周知を図ること。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>施設所管課の評価及び指導事項を踏まえ、今後とも事業の運営に際し、一層充実できるよう企画して参りたい。 利用者から挙げられた要望については、個々のニーズに誠実に耳を傾けて参りたい。 ショートステイ事業の活用に関しては、今後とも市町村長に対する文書での依頼とともに、関連する福祉団体等にもPRして参りたい。 経営状況については、経費等の見直しを重ねるなど節約に努め、更なる適正化を図って参りたい。措置権者である市町村を訪問し、青い鳥老人ホームの施設の役割や特性等について周知を行って参りたい。</p>

7 管理体制(組織図)

平成28年4月1日現在

